資料　４－５

市民生活の現状および満足度についての

アンケート調査報告書

平成２４年２月　　熊谷市総合政策部企画課

１　調査の趣旨

本市は現在、将来都市像「川と川 環境共生都市 熊谷」を目指し、総合振興計画に基づき、各施策に取り組んでいます。

総合振興計画は、基本構想（H20～H29)、基本計画（前期 H20～H24・後期 H25～H29）及び実施計画（毎年）で構成されています。

平成 24 年度は、前期基本計画の最終年となっておりますとともに、後期基本計画の策定を予定しております。

また、総合振興計画には、まちづくりの進み具合を測るための「ものさし」として成果指標を設定しており、この成果指標には、統計などの客観的なデータから把握する数値と、市民アンケートにより把握する数値があります。

このたび、市民アンケートにより把握する数値について、市民の皆さまにアンケートをお願いし、それぞれの施策の重要度、満足度をうかがいました。今後の熊谷市のまちづくりに活かすための資料及び後期基本計画の策定に活用させていただきたいと思います。

２　調査の概要

平成２４年２月中旬、１８歳以上の市民から無作為に抽出した 3,000 人にアンケート調査表を郵送し、返信用封筒による郵送で回収しました。

アンケートの回収数は１，２４３通、回収率は４１．４％でした。

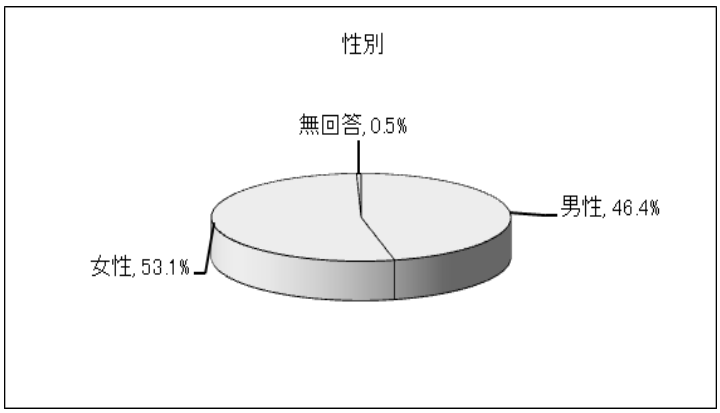
※注１　割合を四捨五入して表示しているため合計が 100%にならない項目があります。

※注２　表の数値及びグラフの単位の記載の無い数値は人数です。

３　回答者属性について

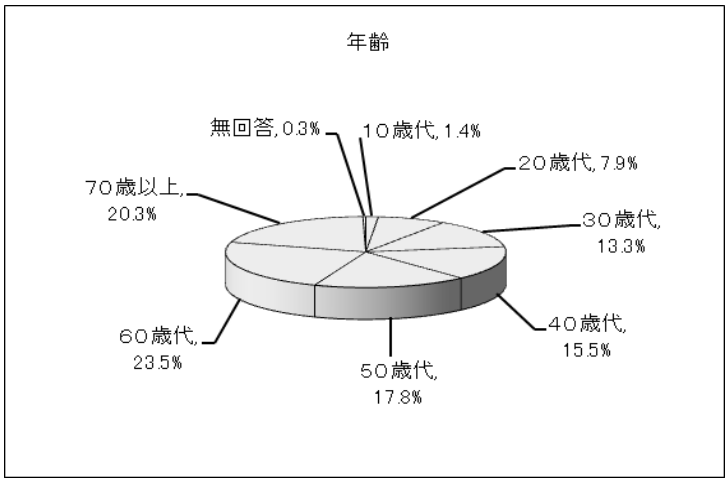
⑴ 性別

男　性	577
女　性	660
無回答	6
合　計	1,243



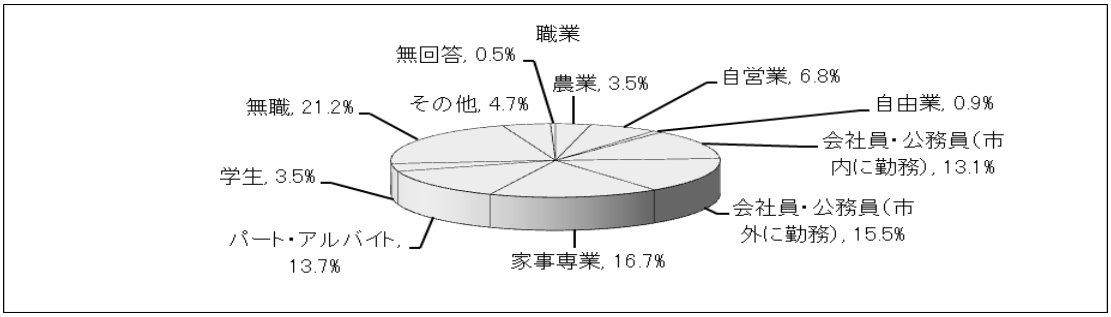
⑵ 年齢

１０歳代	18
２０歳代	98
３０歳代	165
４０歳代	193
５０歳代	221
６０歳代	292
７０歳以上	252
無回答	4
合　計	1,243



⑶ 職業

農業	43	パート・アルバイト	170
自営業	84	学生	43
自由業	11	無職	263
会社員・公務員（市内に勤務）	163	その他	59
会社員・公務員（市外に勤務）	193	無回答	6
家事専業	208	合　計	1,243



⑷　居住地区

中央区Ⅰ	162	吉岡地区	37
中央区Ⅱ	161	大里地区	66
東部地区	136	妻沼地区	143
西部地区Ⅰ	120	江南地区	74
西部地区Ⅱ	154	わからない	43
北部地区	141	無回答	6
		合計	1,243

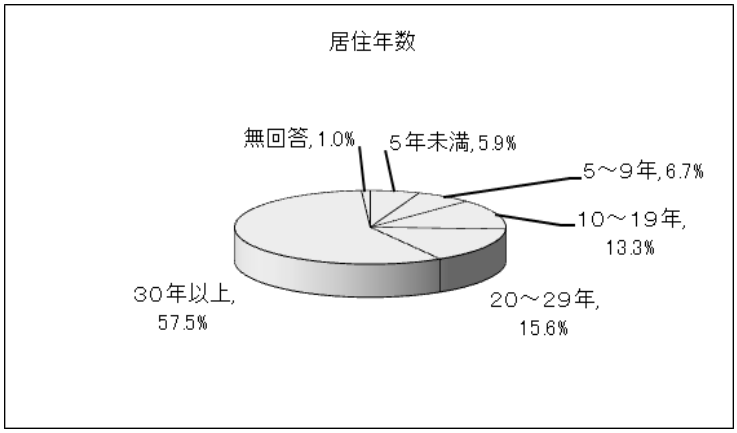


※この地図は、市内各小学校の校区で区分してあります。

地　区	小学校区
中央地区Ⅰ	熊谷東・熊谷西小学校区
中央地区Ⅱ	熊谷南・石原・桜木小学校区
東部地区	成田・佐谷田・久下・星宮小学校区
西部地区Ⅰ	玉井・別府・新堀小学校区
西部地区Ⅱ	大麻生・三尻・籠原小学校区
北部地区	大幡・中条・奈良小学校区
吉岡地区	吉岡小学校区
大里地区	市田・吉見小学校区
妻沼地区	妻沼・男沼・太田・長井・秦・小島・妻沼南小学校区
江南地区	江南北・江南南小学校区

⑸　居住年数

5年未満	73
5～9年	83
10～19年	165
20～29年	194
30年以上	715
無回答	13
合計	1,243



４　アンケート集計結果

Ⅰ　住みごこちや市政への関心についてうかがいます

概要

・「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせると 78.8%の人が住みやすく感じており、「続けて住みたい」と「できれば続けて住みたい」を合わせると 80.2%の方が続けて住みたいと考えています。

・続けて住みたいと思う理由は、「永年住みなれているから（620 人）」や「友人・知人・親戚が多いから（282 人）」という定住系であり、「教育環境がよいから」をあげた人は 18 人で最も少なくなっています。

・転居したい理由の上位に「交通の便が悪いから」や「生活環境が悪いから」が挙げられています。

・市政に関心がある人は 65%であり、そのうち、「自分の暮らしに直接関係があるから」とする理由が 65.4%となっています。

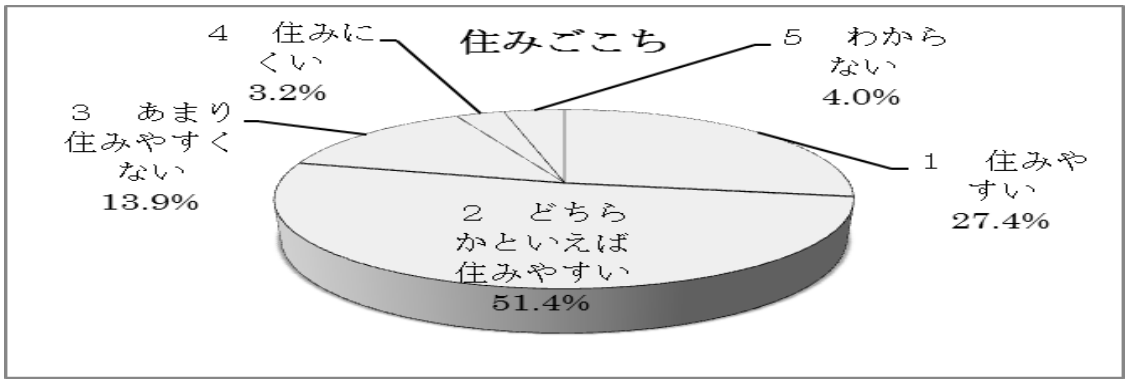
・市政に関心がない人の 49.1%は、「個人の意見が反映されにくい」とする理由を挙げています。

・本市の行政運営に対しては、「無駄の削減などの行政改革や健全な行政運営を望む人が 26.5%と最も多くなっています。

・今後の行政サービスのあり方については、「行政サービスの水準は上げて欲しいが、負担が増えるなら現在と同じ程度でよい」とする意見が最も多く、次いで、「行政サービスの水準が多少低下しても、税などの市民負担は軽い方がよい」とする意見が多くなっています。

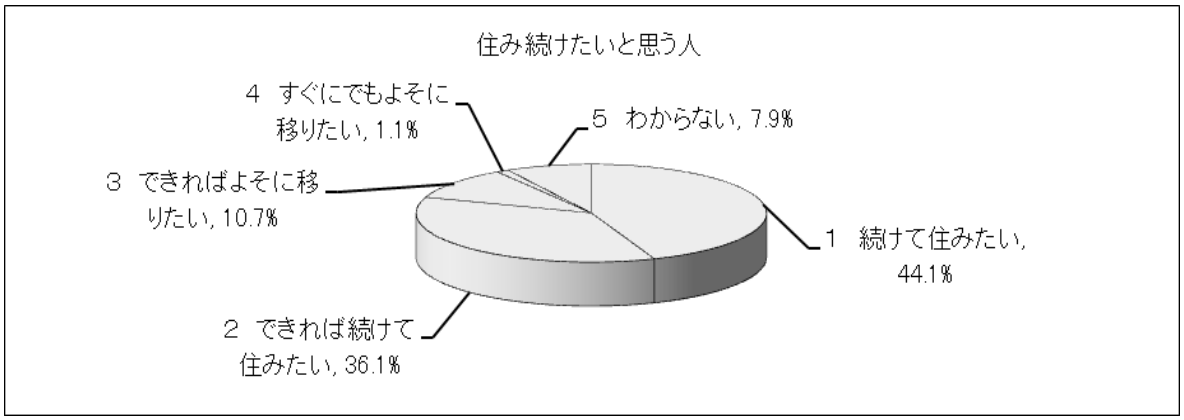
問１　熊谷市の住みごこちはどうですか。１つ選んでください。

１ 住みやすい	340	４ 住みにくい	40
２ どちらかといえば住みやすい	637	５ わからない	50
３ あまり住みやすくない	172		



問２　あなたは、熊谷市にこれからも住み続けたいと思いますか。１つ選んでください。

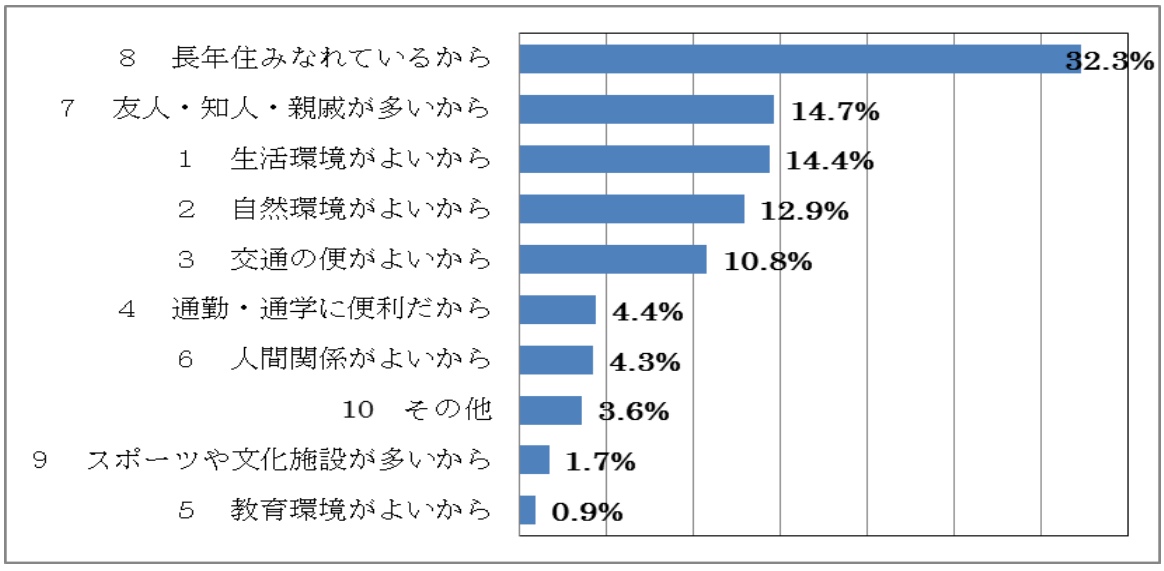
１　続けて住みたい	547	４　すぐにでもよそに移りたい	14
２　できれば続けて住みたい	447	５　わからない	98
３　できればよそに移りたい	133		



〔問２で「１」または「２」を選んだ方にうかがいます。〕

問２－１　続けて住みたいと思う理由は何ですか。２つまで選んでください。

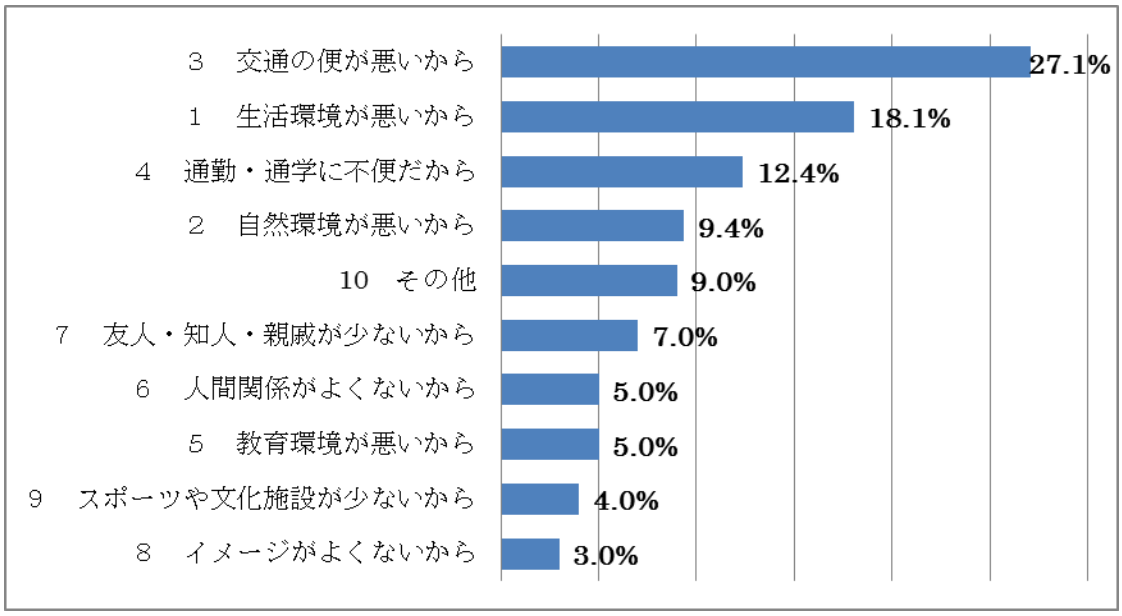
１　生活環境がよいから	276	６　人間関係がよいから	82
２　自然環境がよいから	248	７　友人・知人・親戚が多いから	282
３　交通の便がよいから	207	８　長年住みなれているから	620
４　通勤・通学に便利だから	85	９　スポーツや文化施設が多いから	33
５　教育環境がよいから	18	１０　その他	69



〔問２で「３」または「４」を選んだ方にうかがいます。〕

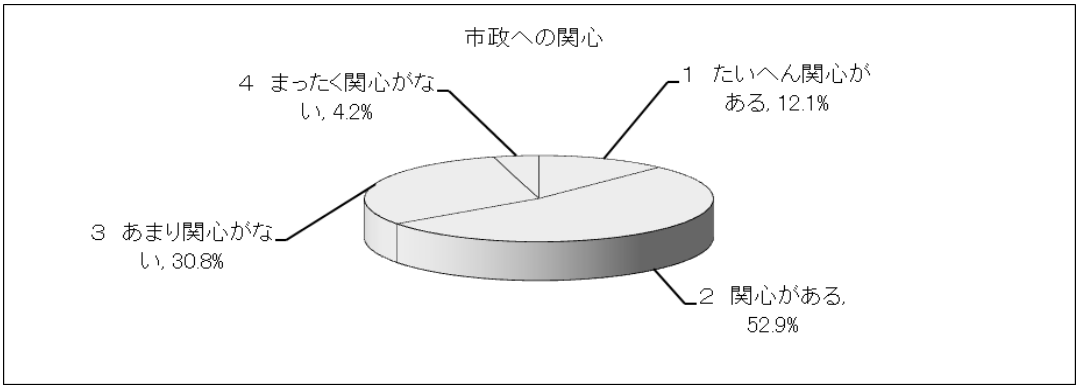
問２－２　よそに移りたいと思う理由は何ですか。２つまで選んでください。

１　生活環境が悪いから	54	６　人間関係がよくないから	15
２　自然環境が悪いから	28	７　友人・知人・親戚が少ないから	21
３　交通の便が悪いから	81	８　イメージがよくないから	9
４　通勤・通学に不便だから	37	９　スポーツや文化施設が少ないから	12
５　教育環境が悪いから	15	10　その他	27



問３　あなたは、市政について関心がありますか。１つ選んでください。

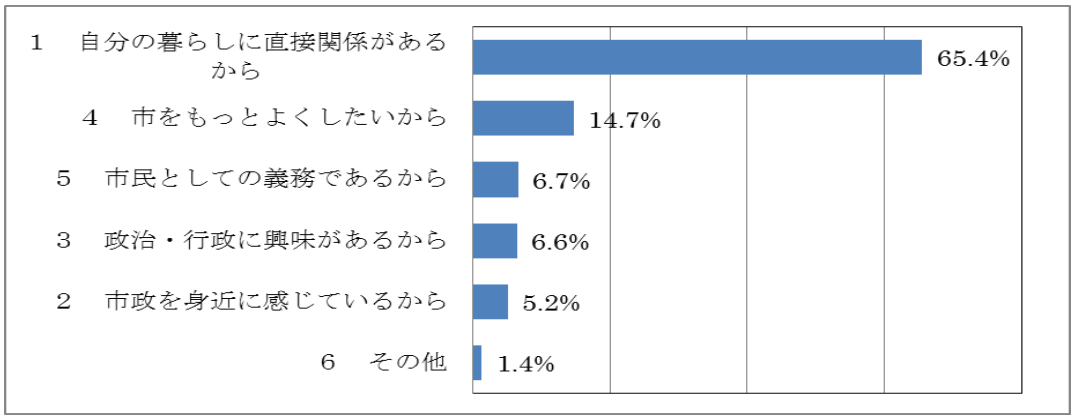
１　たいへん関心がある	150
２　関心がある	657
３　あまり関心がない	382
４　まったく関心がない	52



〔問３で「１」または「２」を選んだ方にうかがいます。〕

問３－１　市政に関心があるのはどんな理由からですか。１つ選んでください。

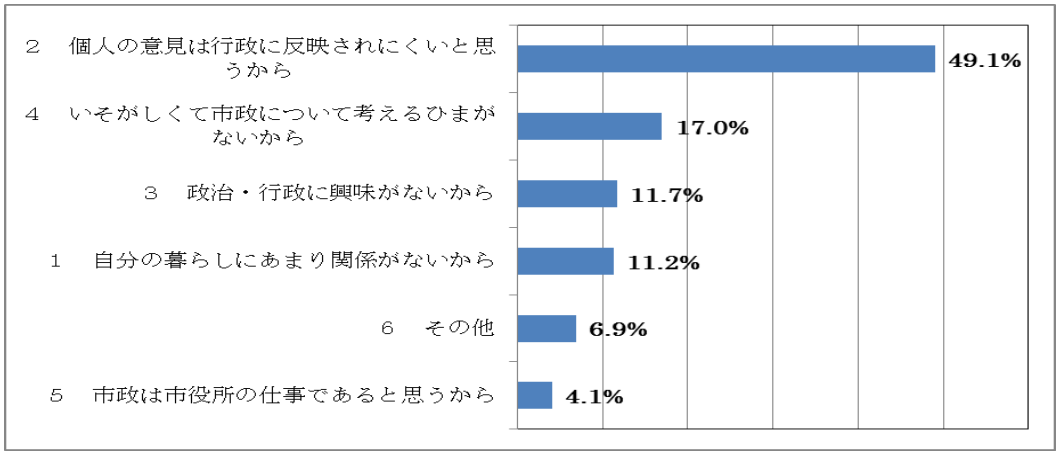
１　自分の暮らしに直接関係があるから	528
２　市政を身近に感じているから	42
３　政治・行政に興味があるから	53
４　市をもっとよくしたいから	119
５　市民としての義務であるから	54
６　その他	11



〔問３で「３」または「４」を選んだ方にうかがいます。〕

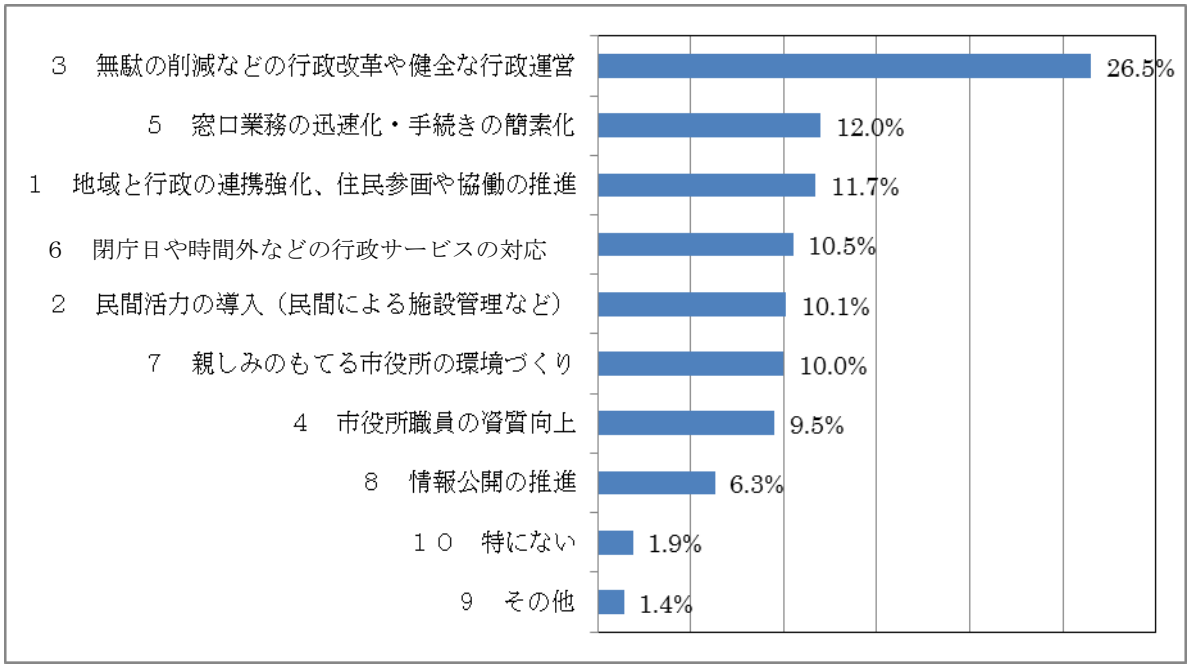
問３－２　市政に関心がないのはどんな理由からですか。１つ選んでください。

１　自分の暮らしにあまり関係がないから	49
２　個人の意見は行政に反映されにくいと思うから	214
３　政治・行政に興味がないから	51
４　いそがしくて市政について考えるひまがないから	74
５　市政は市役所の仕事であると思うから	18
６　その他	30



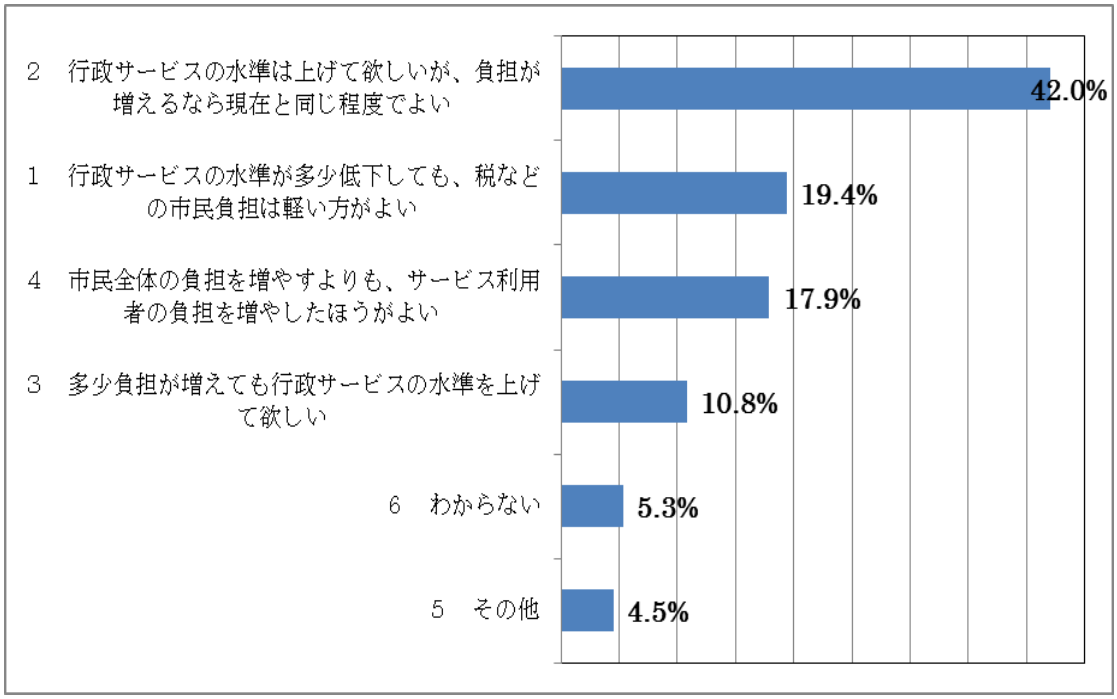
問４　あなたは、熊谷市の行政運営に対して特にどのようなことを望みますか。３つ選んでください。

１　地域と行政の連携強化、住民参画や協働の推進	417
２　民間活力の導入（民間による施設管理など）	361
３　無駄の削減などの行政改革や健全な行政運営	944
４　市役所職員の資質向上	337
５　窓口業務の迅速化・手続きの簡素化	429
６　閉庁日や時間外などの行政サービスの対応	374
７　親しみのもてる市役所の環境づくり	357
８　情報公開の推進	224
９　その他（　　）	50
１０　特にない	68



問５　今後の行政サービスのあり方について、あなたの意見に近いものはどれですか。

１　行政サービスの水準が多少低下しても、税などの市民負担は軽い方がよい	236
２　行政サービスの水準は上げて欲しいが、負担が増えるなら現在と同じ程度でよい	510
３　多少負担が増えても行政サービスの水準を上げて欲しい	131
４　市民全体の負担を増やすよりも、サービス利用者の負担を増やしたほうがよい	218
５　その他	55
６　わからない	65



問６　熊谷の宝として全国に発信できるものは、どのようなものがありますか。
　　１つ記入してください。

集計表（回答した人数の多い順）

No.	内　　容	人 数	No.	内　容	人 数
1	うちわ祭	169	18	夏祭り	9
2	夏の気温（暑さ）・暑さ対策	71	19	花火大会	8
3	聖天さま	63	20	スポーツ施設の充実	8
4	熊谷次郎直実	40	21	水が良い	7
5	桜、桜堤	33	22	うどん	7
6	あついぞ！熊谷	33	23	荻野吟子	6
7	自然災害が少ない	29	24	最高気温	5
8	環境、自然環境	28	25	にゃおざね	4
9	五家宝	25	26	グライダー	3
10	ムサシトミヨ	23	27	あつべえ	3
11	熊谷スポーツ文化公園	23	28	直実節	3
12	熊谷寺	21	29	公園	2
13	ラグビー	19	30	子育て支援の充実	2
14	荒川・利根川	17	31	小麦	2
15	農作物	16	32	根岸家長屋門	2
16	歴史・文化	10	33	聖天寿司	2
17	雪くま	10			

Ⅱ市民生活についておたずねします（経年比較結果）

※肯定(「はい」)の割合　　単位:(%)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
「ミニくま」を知っている	45.8	44.7	39.7	40.7
「雪くま」を知っている	82.5	81.4	84.1	87.8
校区連絡会や自治会などが行う地域コミュニティ活動に参加している	40.5	34.7	16.9	35.7
人権尊重の意識が向上している	49.2	52.5	37.0	53.0
男女共同参画が進んでいる	46.8	48.6	44.1	45.9
地域防災計画を知っている	34.7	34.4	28.4	33.2
避難すべき避難場所を知っている	72.2	73.9	68.4	72.1
子育てがしやすいと思う	49.3	50.6	55.9	50.1
自分自身が健康である	74.0	74.5	75.0	74.7
自然環境を大切にする活動に参加している	19.4	17.2	5.9	17.1
熊谷市は星がよく見え、空がきれいだ	72.1	70.3	64.2	77.2
マイバッグを利用している	48.4	47.0	49.1	57.0
省エネ活動や、ごみの分別・減量を実践している	88.7	89.6	88.6	92.5
熊谷駅周辺がにぎやかだと思う	36.4	35.2	38.0	30.6
熊谷の景観を美しいと思う	47.7	49.0	48.1	47.1
ユニーバーサルデザインのまちづくりが進んでいる	19.9	19.5	18.7	18.3
生活道路に満足している	42.0	41.3	40.7	41.2
公共交通に満足している	48.1	45.3	42.5	47.4
水道水のおいしさに満足している	56.3	62.2	59.6	60.0
ノーマライゼーションについて理解している	64.7	64.9	60.5	67.3
定期的にスポーツに親しんでいる	35.4	35.9	35.4	34.1

※肯定(「はい」)の割合　　単位:(%)	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22年度	平成 23年度
「市報くまがや」の読みやすさに満足している	67.6	69.4	79.4	66.5
市の施設が利用しやすいと思う	50.0	49.9	42.4	52.1
自治基本条例を制定していることを知っている	17.3	15.8	16.4	16.6
パブリックコメントなどが行われていることを知っている	13.8	13.6	10.1	14.8

※平成 22 年度は「市民意識調査」と併せて実施しました。

過去３年間の調査結果と各項目の肯定（「はい」）を比較すると、「「雪くま」を知っている」、「人権尊重の意識が向上している」、「自分自身が健康である」、「熊谷市は星がよく見え、空がきれいだ」、「マイバッグを利用している」、「省エネ活動や、ごみの分別・減量を実践している」、「ノーマライゼーションについて理解している」、「市の施設が利用しやすいと思う」、「パブリックコメントなどが行われていることを知っている」の 9 項目で、今回の調査結果が最も高い割合を示しています。

一方、「「ミニくま」を知っている」、「子育てがしやすいと思う」、「熊谷駅周辺がにぎやかだと思う」、「「市報くまがや」の読みやすさに満足している」の４項目で、過去の調査と比較して５%以上の減少となっています。

Ⅲ　施策の重要度、満足度についてうかがいます

概要

本市の総合振興計画に掲げる、４５の施策と３つのリーディング・プロジェクトの重要度及び満足度について、それぞれ回答結果を点数化し集計を行いました。

重要度	重要	やや重要	普通である	あまり重要でない	重要でない
採　点	５	４	３	２	１
満足度	満足	ほぼ満足	普通である	やや不満	不満

【重要度の経年比較（順位比較）】

項　　目	H23順位	H22順位	H21順位	
医療体制を充実する	1位	2位	1位	
災害に強いまちをつくる	2位	3位	5位	
交通事故の減少・防止を図る	3位	4位	2位	
犯罪の起こらない環境を整備する	4位	1位	3位	
楽しく子育てできる環境をつくる	5位	7位	4位	（上位５項目）

項　　目	H23順位	H22順位	H21順位	
国際交流・国際理解を推進する	44位	47位	44位	
機能的な幹線道路を整備する	45位	34位	45位	
魅力ある生涯学習事業、施設を拡充・整備する	46位	36位	40位	
人でにぎわう緑あふれる公園をつくる	47位	40位	47位	
安心して暮らせる市営住宅を整備する	48位	48位	48位	（下位５項目）

【満足度の経年比較（順位比較）】

項　　目	H23順位	H22順位	H21順位	
歴史再発見のまちを推進する	1位	18位	1位	
消防力を強化する	2位	2位	2位	
犯罪の起こらない環境を整備する	3位	38位	5位	
災害に強いまちをつくる	4位	12位	4位	
市民活動を育成・支援する	5位	17位	6位	（上位５項目）

項　　目	H23順位	H22順位	H21順位	
地域の特色を生かしたバランスの良いまちをつくる	44位	23位	46位	
便利に使える生活道路を整備する	45位	45位	45位	
企業活力を高める	46位	47位	44位	
健全な財政運営を行う	47位	43位	47位	
商業を活性化する	48位	48位	48位	（下位５項目）

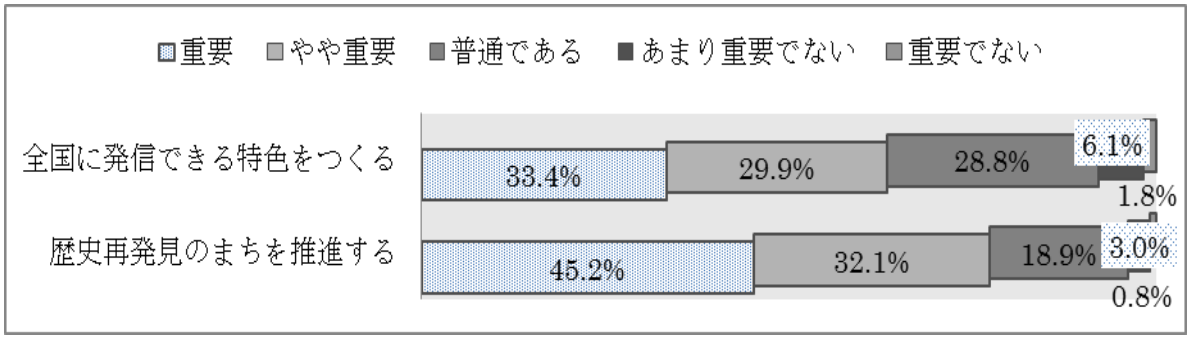
施策の重要度、満足度について

（１） 施策重要度

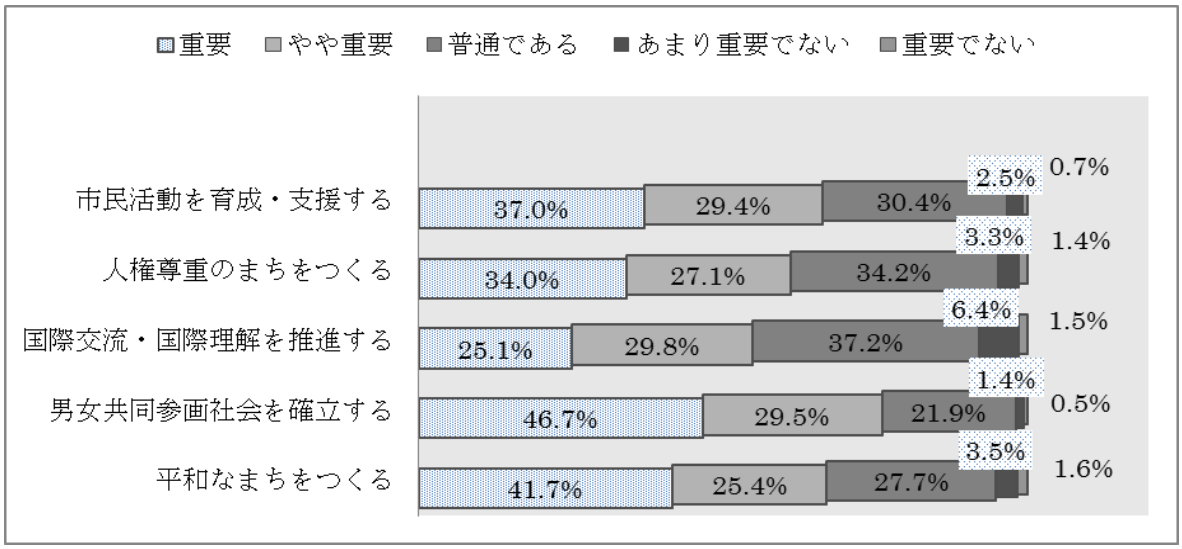
市が取り組む施策とリーディング・プロジェクトについて、分野別に各施策の重要度をみたのが次のグラフです。

《重要》の割合の高いものをみると「犯罪の起らない環境を整備する」、「災害に強いまちをつくる」、「交通事故の減少・防止を図る」、「医療体制を充実する」が７割台で多くなっており、「消防力を強化する」、「楽しく子育てできる環境をつくる」が 6 割台となっています。一方《重要ではない》の割合が高いものは「安心して暮らせる市営住宅を整備する」が 4.2%、「あっぱれ！熊谷流プロジェクト」が 2.4%でありましたが、すべて１割未満となっています。

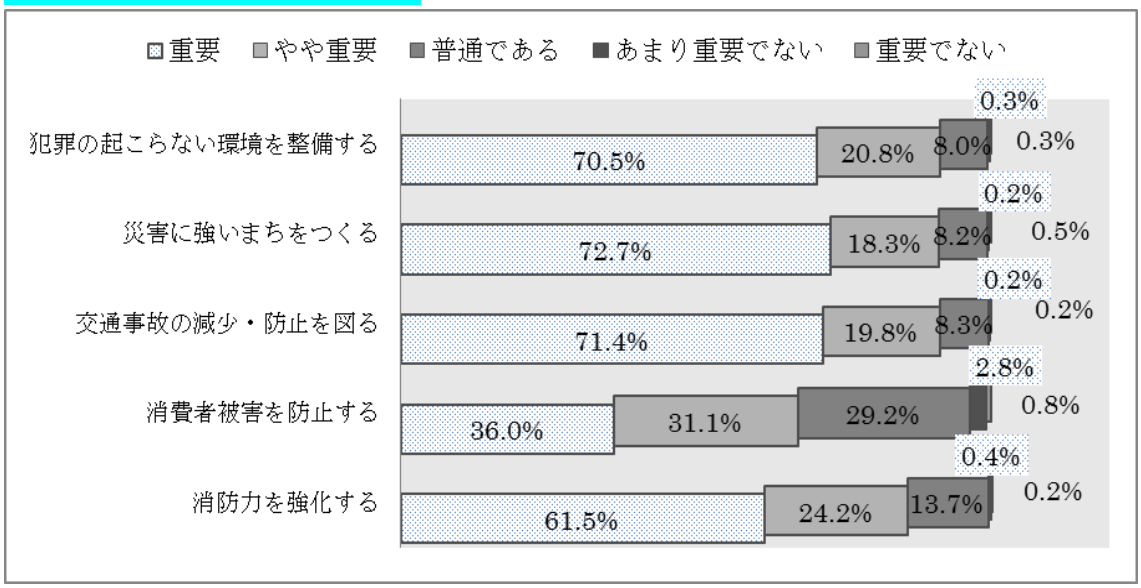
１　魅力ある郷土をほこれるまち



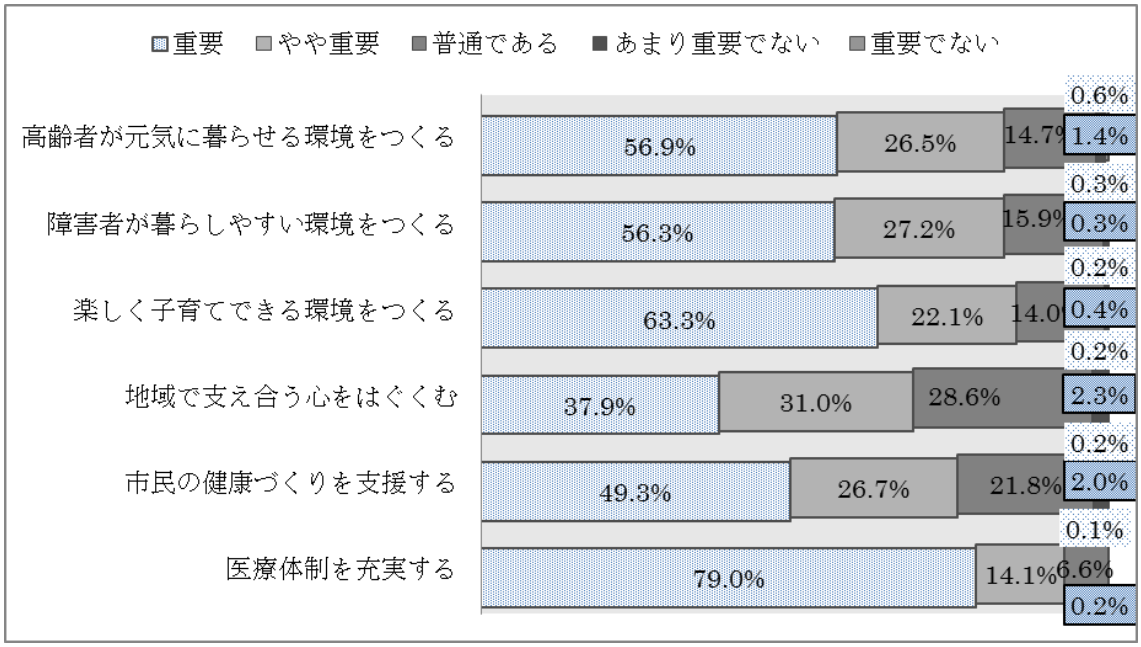
２　市民と行政が協働するまち



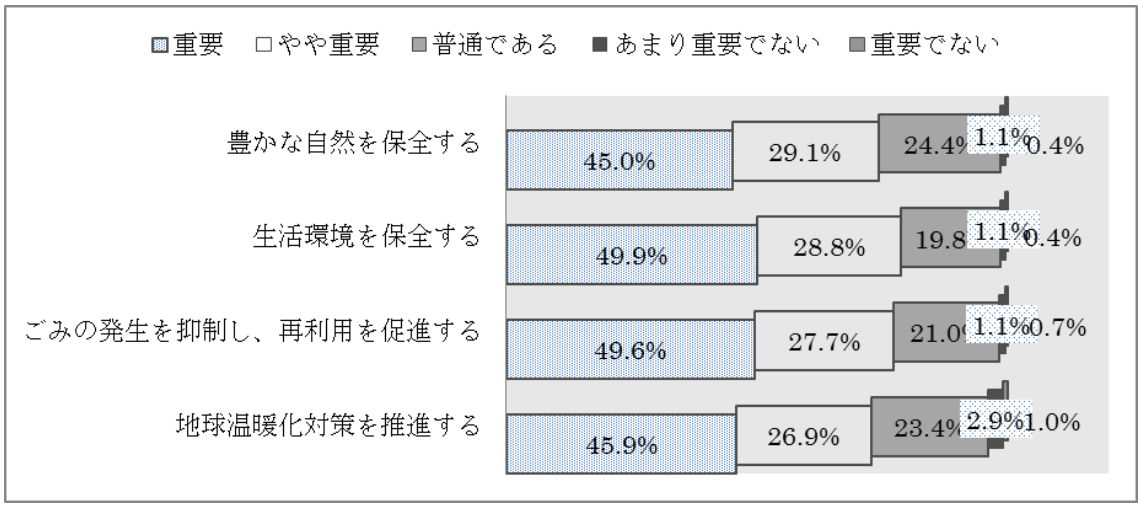
3　みんなで創る安全なまち



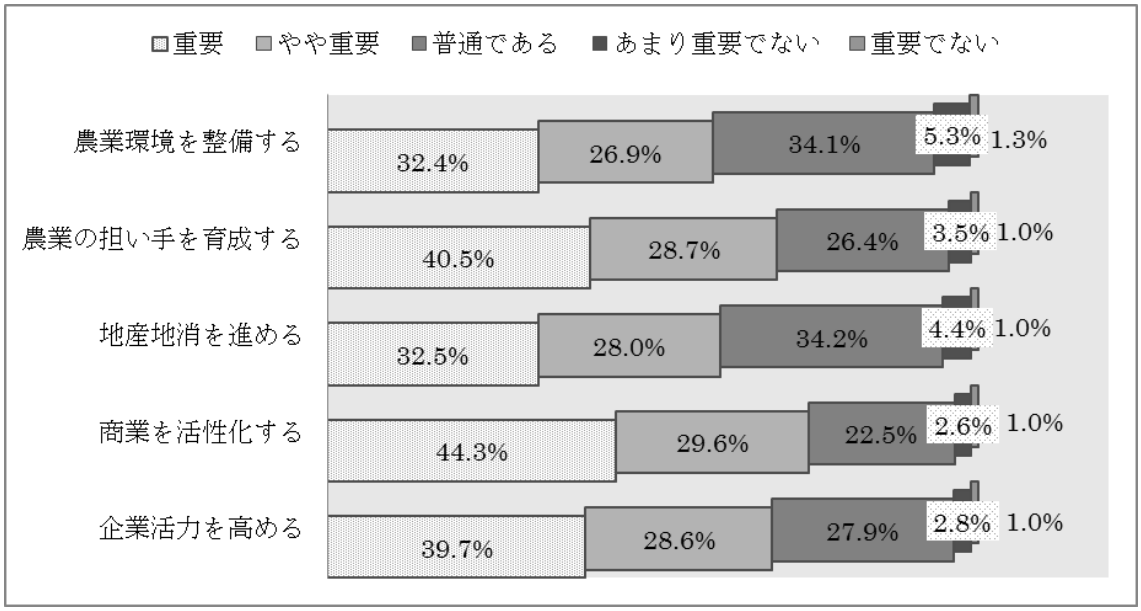
4　だれもが安心して健康に暮らせるまち



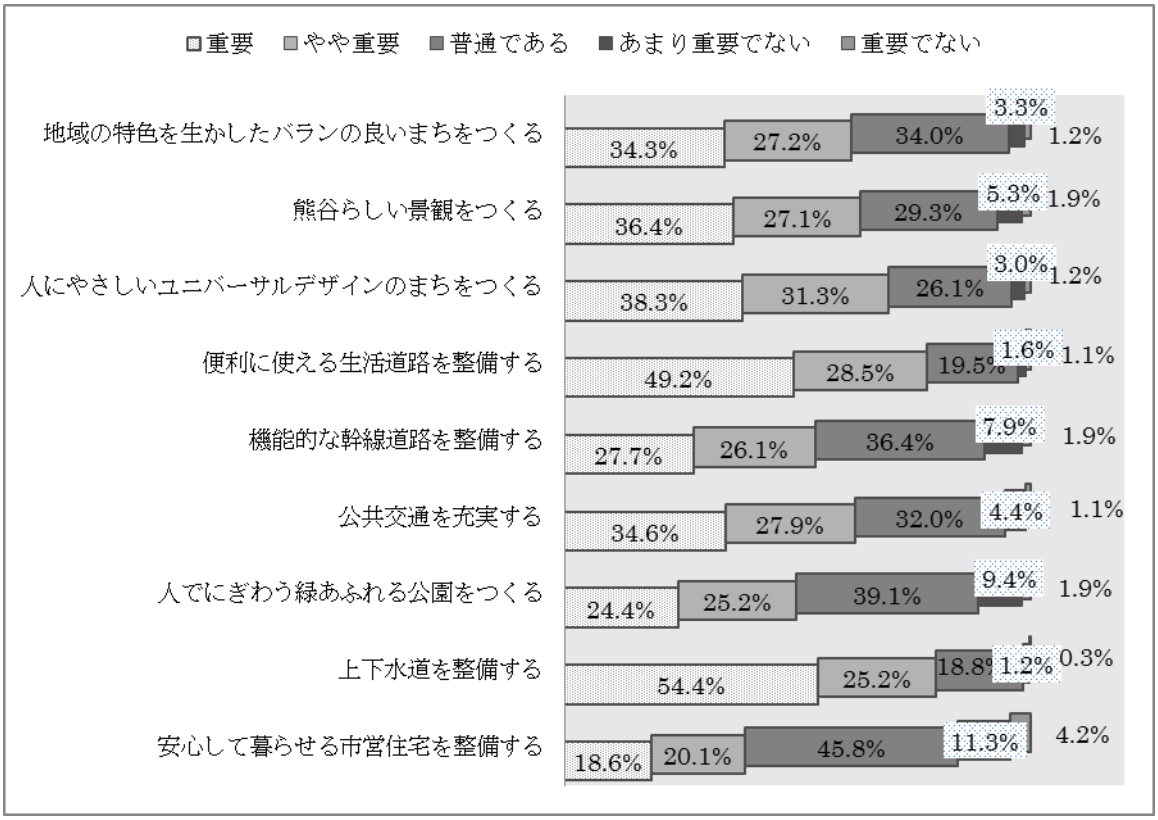
５　自然の豊かさがあふれるまち



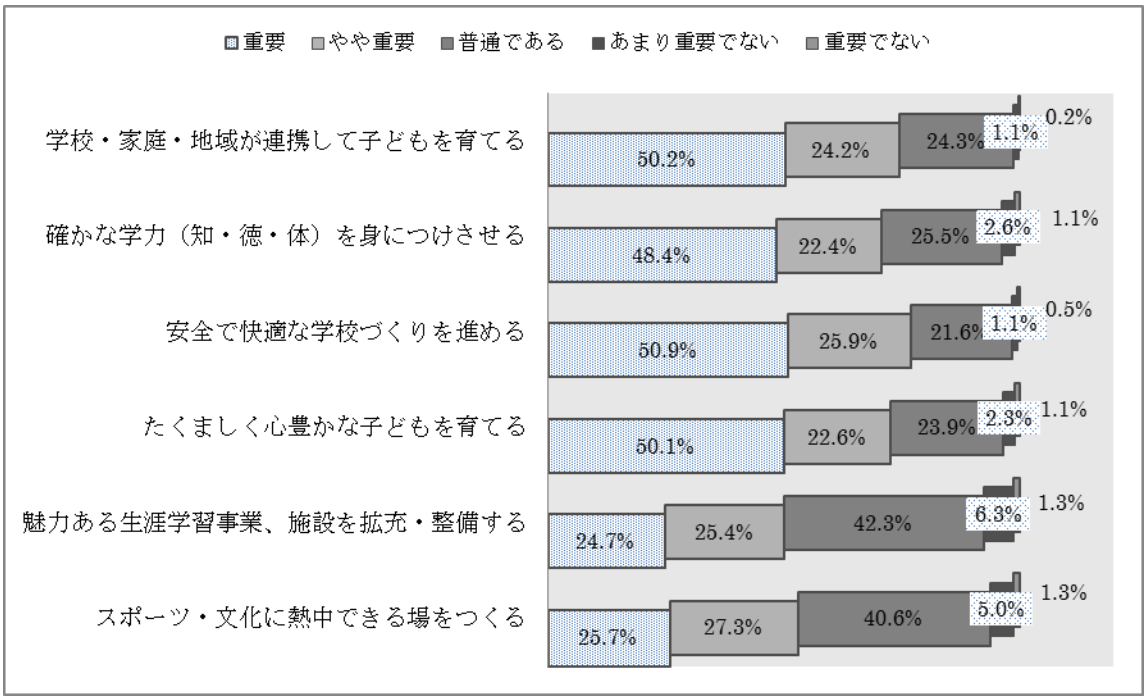
６　活力ある産業が育つまち



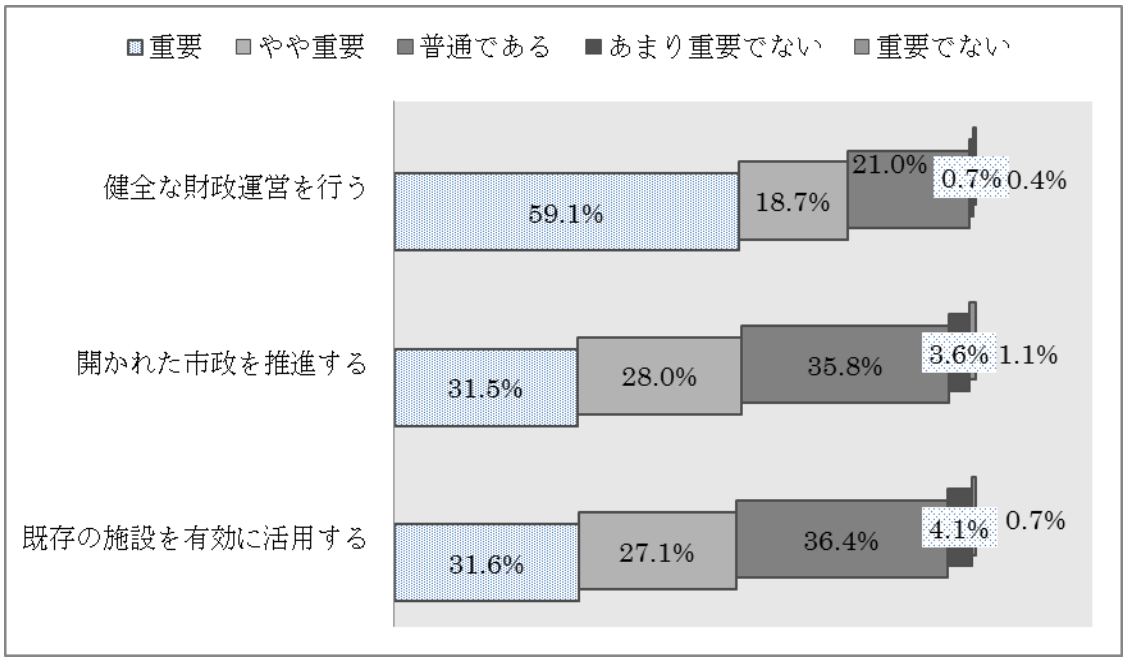
7　便利で快適な人にやさしいまち



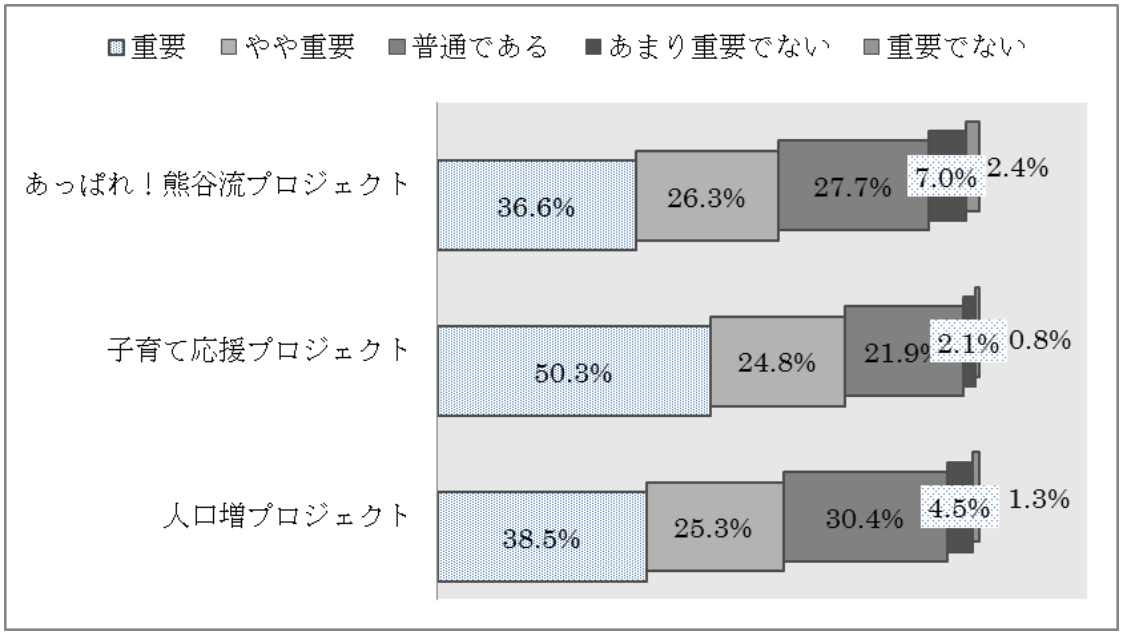
8　地域に根ざした教育・文化のまち



９　効率的でわかりやすい行財政



リーディング・プロジェクト



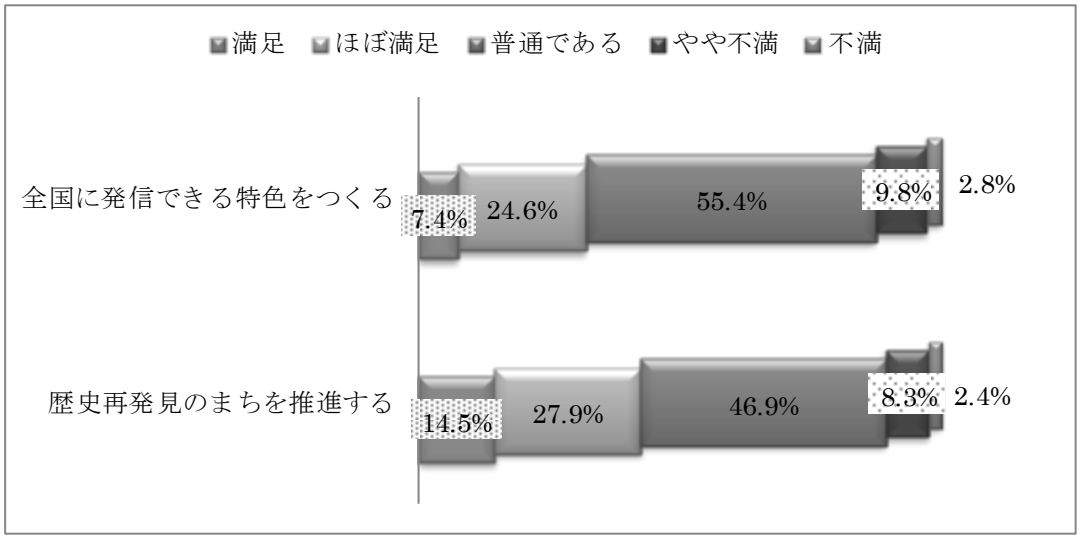
（２） 施策満足度

市が取り組む施策とリーディング・プロジェクトについて、分野別に各施策の満足度をみたのが次のグラフです。

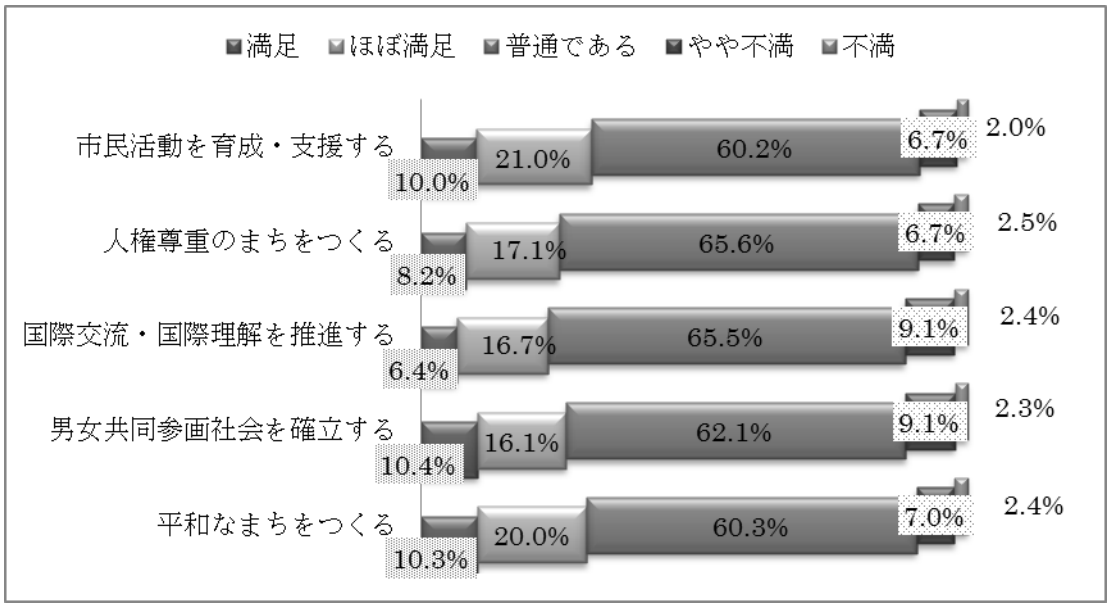
多くの項目で「普通」が大半を占めていますが、その中で《満足・ほぼ満足》の割合の高いものをみると、「歴史再発見のまちを推進する」が 42.4%の他、「全国に発信できる特色をつくる」、「平和なまちをつくる」、「市民活動を育成・支援する」、「消防力を強化する」、「交通事故の減少・防止を図る」、「災害に強いまちをつくる」、「犯罪の起こらない環境を整備する」、「医療体制を充実する」、「市民の健康づくりを支援する」、「上下水道を整備する」が 3 割台となっています。

一方、《不満・やや不満》の割合の高いものは、「商業を活性化する」（32.7%）の他、「交通事故の減少・防止を図る」、「医療体制を充実する」、「企業活力を高める」、「公共交通を充実する」、「便利に使える生活道路を整備する」、「熊谷らしい景観をつくる」、「地域の特色を生かしたバランスの良いまちをつくる」、「健全な財政運営を行う」などで 2 割台となっています。

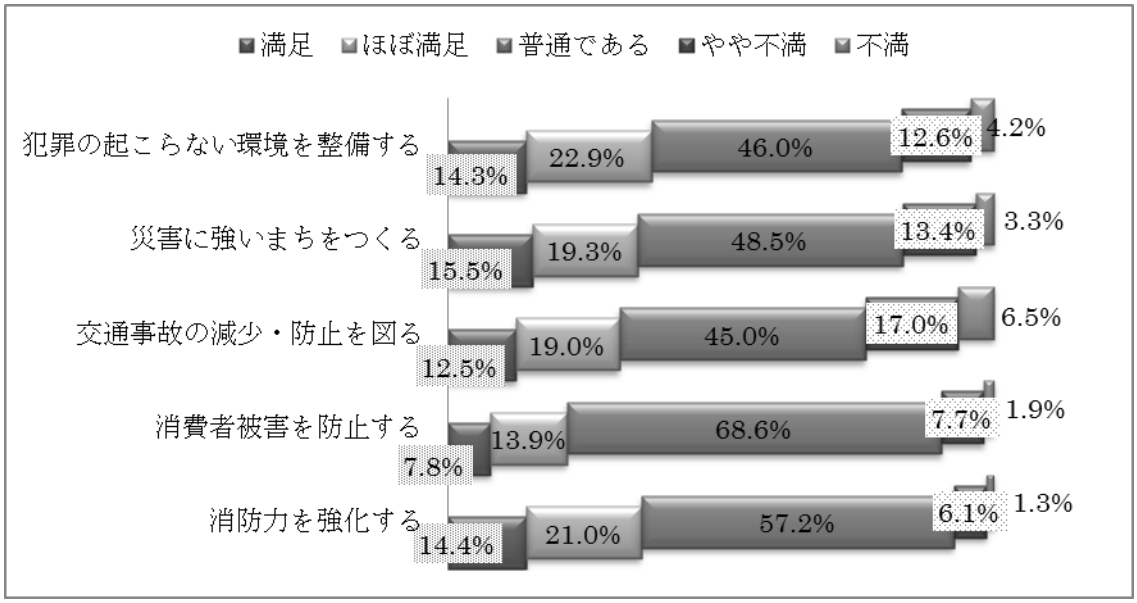
１　魅力ある郷土をほこれるまち



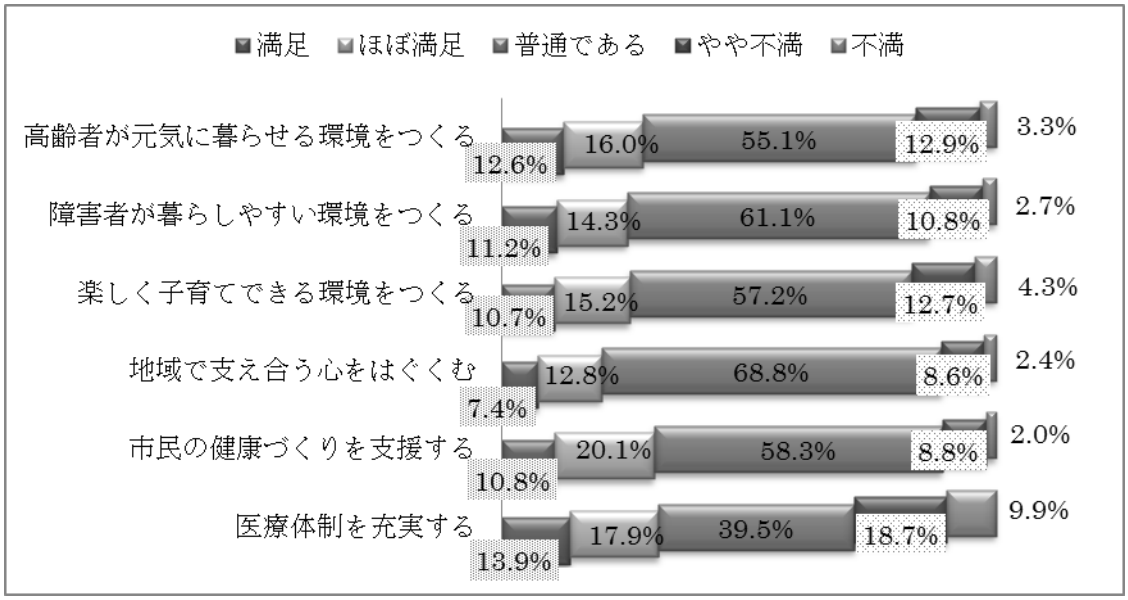
2　市民と行政が協働するまち



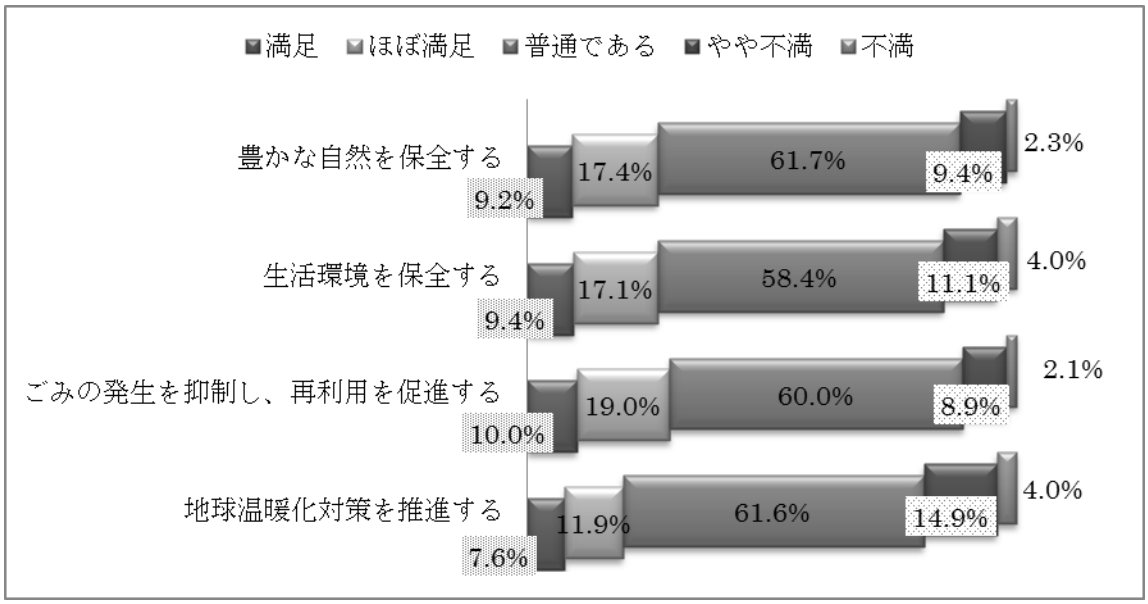
3　みんなで創る安全なまち



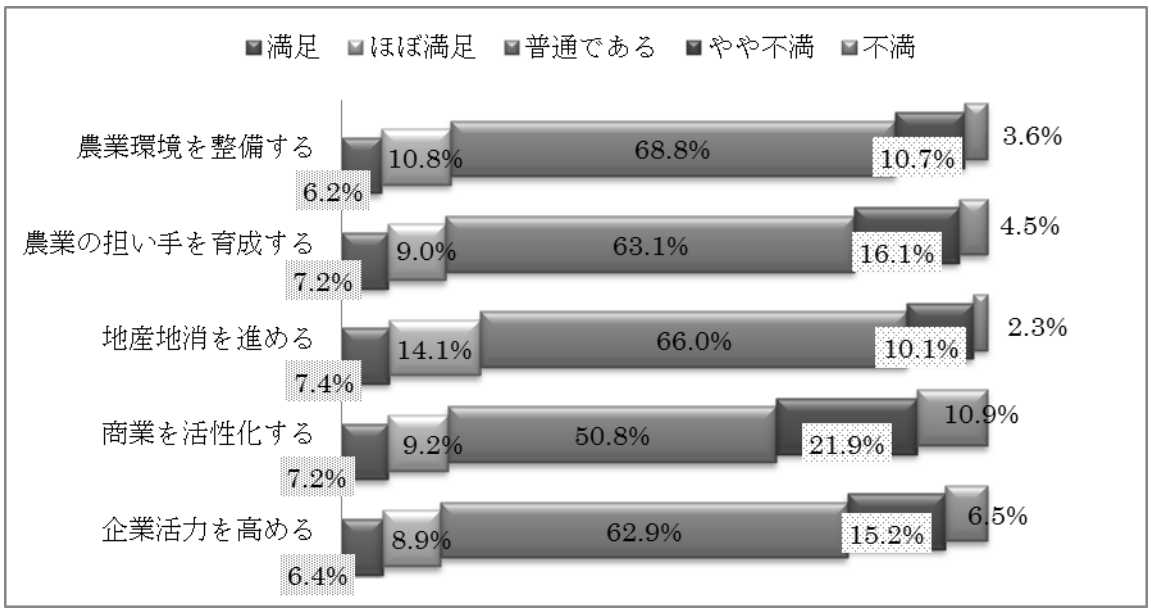
4　だれもが安心して健康に暮らせるまち



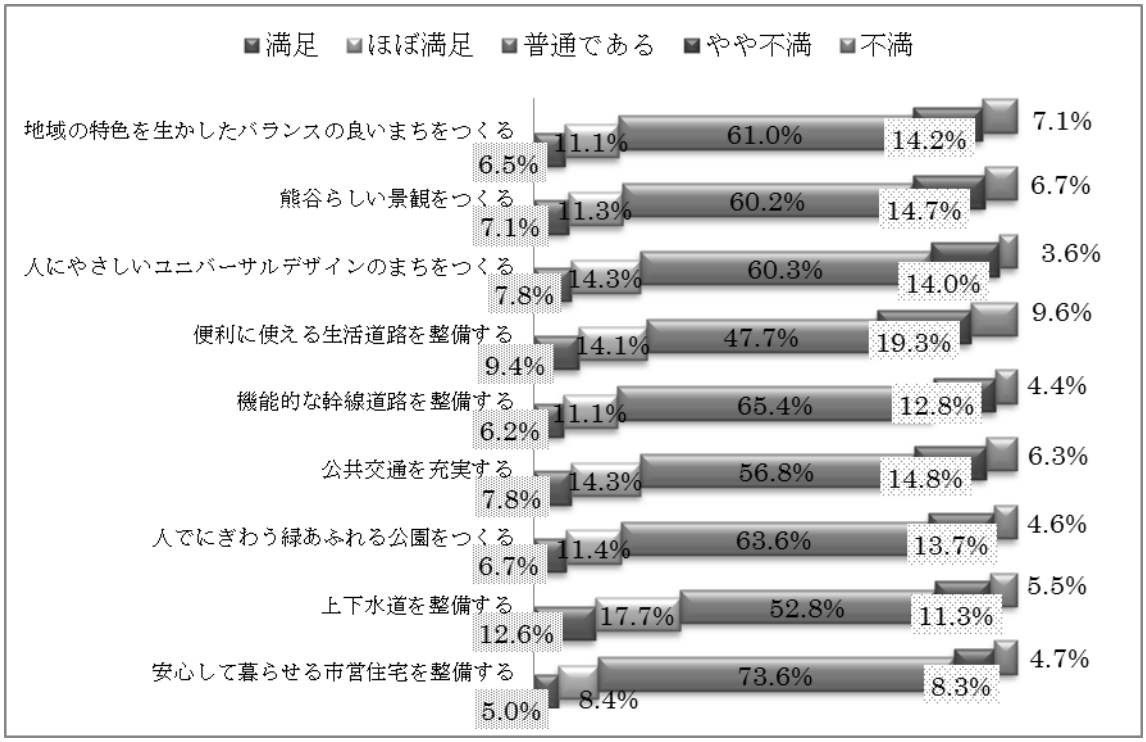
5　自然の豊かさがあふれるまち



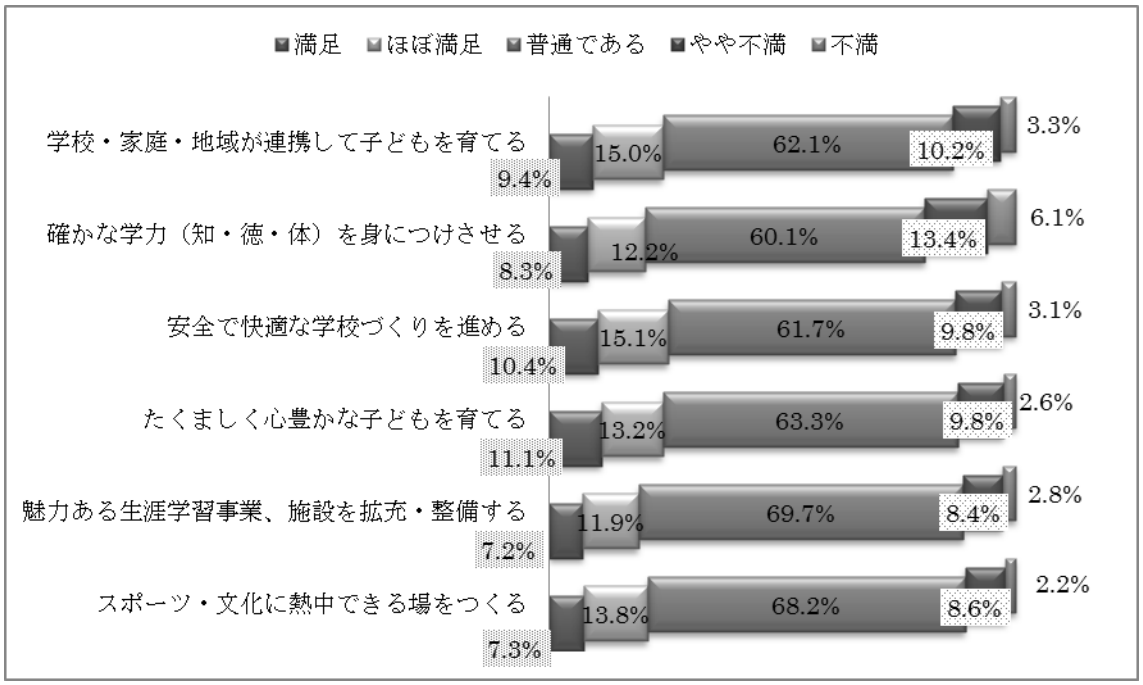
6　活力ある産業が育つまち



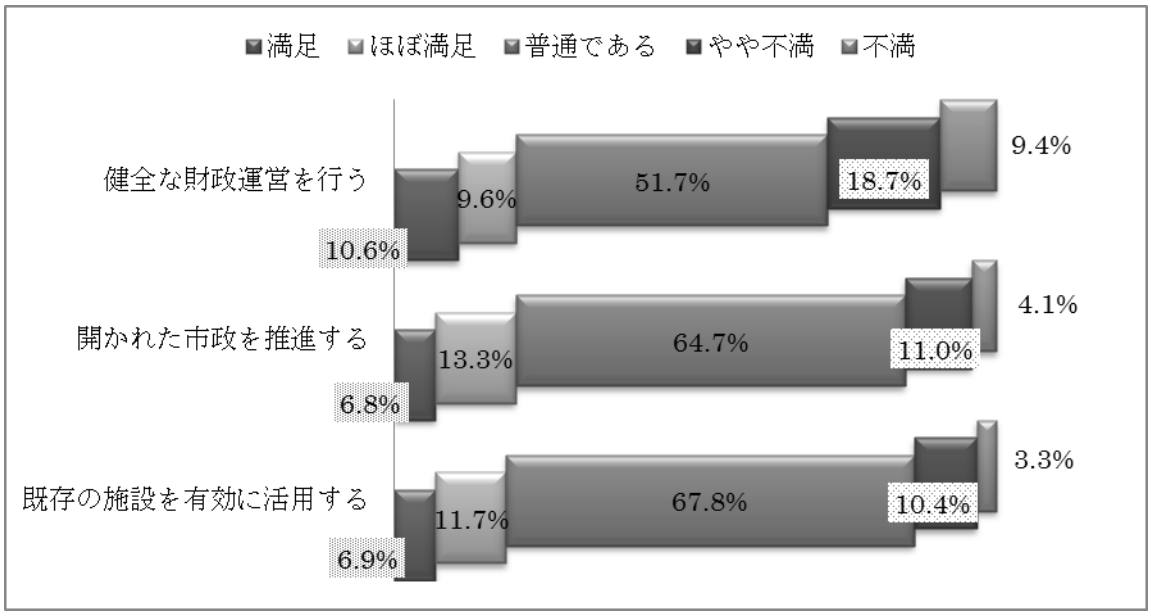
7　便利で快適な人にやさしいまち



8　地域に根ざした教育・文化のまち



9　効率的でわかりやすい行財政



１０　リーディング・プロジェクト

